



福祉公社は、武蔵野市が全国に先駆け、昭和 55 年に設立した在宅サービス提供機関です。

誌名「羅針盤」はご利用者を包括的に支援し、その人生と共に歩むサービスの基本姿勢を表したものです。

経験したことのない酷暑の毎日、次々に発生する台風。
戸惑うばかりの 8 月の気象でしたが、月下に鈴虫が唄う
9 月となりました。

しみじみと心に響く虫のすだきに加え、
古歌では風の音をも秋の声と詠じました。

様々な行事が催される敬老の月。

皆様には元気浚刺、ご参加くださいますように。



<紙面から>

権利擁護事業運営監視委員会 ……1ページ

高齢者総合センター 納涼囲碁将棋大会

平成 29 年度福祉公社会計報告 ……2ページ

高齢者総合センター 児童との交流会

事業報告会 ……3ページ

お知らせ リレーコラム ……4ページ



平成 30 年度 第 1 回 権利擁護事業運営監視委員会



高齢者福祉計画は、ひとり暮らし高齢者への重点的支援を謳い、住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるように、権利擁護事業・成年後見制度の利用促進を個別施策として挙げています。武蔵野市でその任を担い、高齢市民の生活と財産を保護するのが福祉公社です。

成年後見の個人受任者による非違事例が多発している昨今、その対策として、福祉公社は法人組織として「利用者の信託に任せ財産、生命、生活の質を守る高い意識」を持って職務にあたる職員の育成と「善意に頼らないチェックシステム」の導入を推進し、第三者機関による公益法人監査、会計監査、苦情対応第三者委員会等を整備しています。運営監視委員会もその一環としてあります。

公社は、これにより、事業の適正性、透明性、公平性等を検証し、蓄積した法人後見人としての信頼性やより良いサービスの向上を担保しています。

今年度第 1 回委員会が 7 月 27 日に開催されました。監視対象は平成 30 年 1 月 1 日から 6 月 30 日までの業務執行です。ご利用者数は成年後見人等受任 129 名、地域福祉権利擁護事業 44 名、生活保護受給者金銭管理支援事業 21 名などで、監視対象期間中の金銭管理（出納）は 1,955 件でした。これに先立ち、7 月 13 日に税理士の亀田委員とその補助者の 3 名体制で、新規契約者の保管物や期間中の各事業の全ての出納を確認し、いずれも適正に管理されていることを確認しました。

新任の杉田哲朗委員は「公社が成年後見、財産管理に関し、厳格かつ誠実に事業執行する実際を検分し、その信頼性の高さに安心した。今後、高齢者人口の増加に伴い、更に増大する権利擁護・成年後見ニーズのセーフティーネットの砦となる公社の役割はますます重要となる。武蔵野市民としても期待している」と所感を述べています。

小原光文委員長の総括講評は「出納も細かく適切に行っている他、新規案件の対応にも問題はなかった。今後の利用者増加について対応はできているだろうが、協力機関との連携を深めて適切に対応してほしい」とのことでした。

「住み慣れたところで一生を」という理念を実現するため、今後も運営監視委員の指導・助言を得て、事業の透明性を保ち、より良いサービス提供に尽力いたします。

高齢者総合センター 社会活動センター 納涼囲碁将棋大会



社会活動センターでは、毎年7月に囲碁将棋大会を開催しています。
今年も20日の将棋大会に21名、31日の囲碁大会に56名の方が参戦され
猛暑に負けない熱戦が繰り広げられました。

対局は全4局ですが、皆様は疲れも見せず、ご自分の対局が終わった後も、
他の対局を熱心に観戦されていました。

優勝者は、将棋大会は高橋国蔵氏。囲碁大会は四段以上の部が多田宇宏氏、
初段以上の部が杉浦清氏、級の部が田村雅彦氏でした。

優勝おめでとうございます。



囲碁大会



将棋大会

対局の合間には、「この大会で久しぶりに会う仲間がいるんだよ」と碁盤を挟んでお二人で
再会を喜び合う大会常連の方や、先輩棋士から
指南を受けている初参加の方もいらっしや、
終始、皆様、楽しげで和やかな雰囲気でした。

次回は来年1月、新春大会です。

皆様のご参加をお待ちしております。

武蔵野市福祉公社 29年度会計報告

本誌では簡略化した決算書の一部を掲載して
おります。詳細はホームページ上の平成29年度決
算書及び決算参考資料をご覧ください

公益財団法人 武蔵野市福祉公社 貸借対照表 平成30年03月31日現在

科 目	当年度	前年度からの増減
(単位:円)		
I 資産の部		
1. 流動資産		
(1) 現金預金合計	154,648,837	72,586,199
(2) その他流動資産合計	61,257,215	▲ 5,174,235
流動資産合計	215,906,052	67,411,964
2. 固定資産		
(1) 基本財産合計	418,452,559	▲ 415,700
(2) 特定資産合計	689,386,958	▲ 56,247,458
(3) その他固定資産合計	68,579,253	▲ 13,459,246
固定資産合計	1,176,418,770	▲ 70,122,404
資産合計	1,392,324,822	▲ 2,710,440
II 負債の部		
1. 流動負債合計	128,356,877	43,085,846
2. 固定負債合計	92,814,968	▲ 8,008,573
負債合計	221,171,845	35,077,273
III 正味財産の部		
1. 指定正味財産		
寄附金	419,581,059	0
5年国債等	▲ 1,128,500	▲ 415,700
1. 指定正味財産合計	418,452,559	▲ 415,700
2. 一般正味財産	752,700,418	▲ 37,372,013
(うち特定資産への充当額)	(596,571,990)	(▲ 48,238,885)
正味財産合計	1,171,152,977	▲ 37,787,713
負債及び正味財産合計	1,392,324,822	▲ 2,710,440

公益財団法人 武蔵野市福祉公社 正味財産増減計算書

平成29年04月01日から平成30年03月31日まで

(単位:円)

科 目	当年度	前年度からの増減
I 一般正味財産増減の部		
1. 経常増減の部		
(1) 経常収益		
基本財産運用益計	168,000	0
特定資産運用益計	340,631	▲ 3,609
事業収益計	613,102,311	29,509,910
受取補助金等計	72,074,854	798,455
受取寄付金計	4,155,508	▲ 151,479,185
雑収益計	3,444,299	▲ 191,107
経常収益計	693,285,603	▲ 121,365,536
(2) 経常費用		
事業費計	691,839,590	11,692,479
管理費計	38,368,923	▲ 6,772,404
経常費用計	730,208,513	4,920,075
評価損益等調整前当期経常増減額	▲ 36,922,910	▲ 126,285,611
特定資産評価損益等	▲ 420,000	▲ 822,000
評価損益等計	▲ 420,000	▲ 822,000
当期経常増減額	▲ 37,342,910	▲ 127,107,611
2. 経常外増減の部		
(1) 経常外収益計	0	0
(2) 経常外費用計	3	2
当期経常外増減額	▲ 3	▲ 2
税引前当期一般正味財産増減額	▲ 37,342,913	▲ 127,107,613
法人税、住民税及び事業税	29,100	29,100
当期一般正味財産増減額	▲ 37,372,013	▲ 127,136,713
一般正味財産期首残高	790,072,431	89,764,700
一般正味財産期末残高	752,700,418	▲ 37,372,013
II 指定正味財産増減の部		
基本財産評価損計	415,700	326,300
当期指定正味財産増減額	▲ 415,700	▲ 326,300
指定正味財産期首残高	418,868,259	▲ 89,400
指定正味財産期末残高	418,452,559	▲ 415,700
III 正味財産期末残高	1,171,152,977	▲ 37,787,713

高齢者総合センター 社会活動センター ～恒例 児童との交流会～

6月28日、29日に千川小学校4年生58名、大野田小学校3年生141名、武蔵野東小学校3年生65名が社会活動センターの講座を体験し、受講者の皆様との交流を楽しみました。

指導役の受講者数は延べ99名。体験終了後は、5階ホールで、児童がそれぞれに体験の発表を行い、お礼の言葉や歌を披露し、児童・受講者共々大いに盛り上がり、温かい交流の輪が広がりました。

後日届いたお礼のメッセージには、学校や自宅で講座体験を披露したこと、交流会での出来事、講座に対する質問等様々なことが記されていました。「お母さんにマジックを見せたらすごいと褒められた」「茶道のお茶は大人の味」「折り紙のコマ回し大会で一番はじめに止まって残念」「水墨画は筆で絵を描くので楽しい」「フラダンスは最初ドキドキ、次にワクワク、本当に楽しい」、生き活きとした子どもたちの楽しさ、喜びが伝わってきました。

世代間で親睦を深められた良き交流会でした。また、児童たちが体験をきっかけに、健康長寿を目指す受講者の方々の姿に感銘し、高齢者福祉や受講内容に新鮮な興味をいただけてくれたことも喜ばしいことです。

地道な交流が今後の「まちぐるみの支え合い」の素地になることを願っています。



福祉公社 事業報告会 その6

在宅介護・地域包括支援センター

ごみ屋敷・孤立・偏見から日常生活を取り戻す

～先入観により地域で孤立した高齢者との信頼関係をつくる～



在宅介護・地域包括支援センターは、在宅介護に関する様々なご相談を受け、各種の介護支援サービスの情報提供、総合調整を行う機関です。

介護保険利用の出発点である要介護認定の申請も受け付けています。市内に6か所あり、高齢者総合センターの担当地域は、中町・西久保・緑町・八幡町です。

加齢に伴う生活課題が生じたら、いの一番に対応依頼をする市民に身近な総合相談の場です。

さて、本事例では初回の相談は近隣にお住まいの方からでした。

ご本人の近くに寄ると尿臭がし、衣服に汚物がついているという内容でした。他の方からも、人を寄せ付けない雰囲気だと聞き、職員が初めて訪問した所、近寄りたがたい雰囲気を醸し出し、玄関先からは部屋の中が乱れている様子が伺え、衣服の汚れや臭いがありました。

信頼関係を樹立するために職員が定期的に訪問を重ね、ご本人の世帯形態が、同居から一人暮らしとなったことを契機に室内清掃を提案した所、快諾を得てその手伝いをしました。その過程で、ご本人の人となり、来し方の人生をつぶさに知ることができました。それを参考に一連の片付けを終えて、在宅サービスをセットしました。ベッドや手すりの設置による室内の安全確保、デイサービス通所での社会性の保持、ヘルパーによる生活支援と各種サービスが導入されました。ご自身も周囲に気配りされ、身なりを整えるようになり、馴染みの飲食店の利用も再開できました。「あんたたちは、はじめからずっと味方でいてくれた。自分にとっては特別な存在なんだよ」と評価のお言葉を頂き、人生の再出発のお手伝いができました。

在宅介護支援センターは、これからも信頼関係を基調に、ご利用者の人生に深く関わっているという重責を忘れずに、地域での孤立を防止し、その人らしい暮らしを支援いたします。



公社からのお知らせ

ご寄附を有難く拝受しました。

匿名希望 140,000 円

老いじたく講座 ～ 老いじたくの基礎知識 ～

誰にでも訪れる老いに備え、元気なうちから準備して、尊厳ある老後生活を築きましょう。

日時 9月28日(金)13時30分から15時

場所 福祉公社 1階会議室



～ エンディングノート 書き方講座 ～

想いを記すことは残された人たちへの指針

日時 10月15日(月)18時から19時30分

場所 福祉公社 1階会議室



問合せ 在宅サービス課 権利擁護センター

申込 ☎ 23-1165 参加費用は無料です。

～敬老の日の催し～ 参加者募集

「チャリティヘアカット」、「敬老落語会」、「囲碁・将棋コーナーの開放」

日時 9月17日(月・祝)

場所 高齢者総合センター

参加 市内在住 60歳以上の方

内容 ○チャリティ100円ヘアカット(30名)

9時30分受付 10時開始、定員に達し次第終了

○敬老落語会(130名)13:00開場 13:30開演

落語家 初の女性真打 桂右團治師匠

○囲碁将棋コーナー開放 9時～16時30分

申込 本人確認書類を持参し当日直接会場へ。

チャリティヘアカットのみ100円、他無料。

問合せ 社会活動センター ☎ 51-1975



職員リレーコラム

第53回 <むろと廃校水族館>



デイサービスセンター 中村 美和

「亀はなんちゃあ珍しゅうないぞ」「イルカもジンベイザメもおらんがあで」「なんでわざわざこんなへんびな所に」…期待感ゼロ(と言うよりマイナス)でスタートした高知県室戸市の廃校を利用した水族館。嬉しいことに、予想に反して来場者が4か月で4万人を超す人気となりました。人口13,600人の過疎市にとっては「こりゃたまらんぜよ」というところです。

新聞のコラムには「教室にウミガメやエイ、25m プールにはシュモクザメがスイスイ…」とありました。なぜこれ程話題になったのかわかりませんが、私なら教室で宿泊してナイト水族館を企画したり、地元のおじいちゃんを校長先生に仕立てて授業したり…と考えては胸を躍らせています。

少し気の重かった里帰りが楽しみとなりました。 ⇒ 次回はデイサービスセンター 仲道 清美

編集・発行 公益財団法人 武蔵野市福祉公社

次号は平成30年10月10日発行予定です



武蔵野市福祉公社

東京都武蔵野市吉祥寺北町1-9-1

バス停「武蔵野八幡宮前」下車 ☎0422-23-1165

(総務課 権利擁護センター ケアプランセンター)

☎0422-23-2611 (ホームヘルプセンター武蔵野)

武蔵野市立高齢者総合センター

東京都武蔵野市緑町2-4-1 バス停「武蔵野住宅」下車

☎0422-51-1975 (管理・社会活動センター)

☎0422-51-1974 (在宅介護・地域包括支援センター

・補助器具センター)

☎0422-51-2933 (デイサービスセンター)

武蔵野市立北町高齢者センター

東京都武蔵野市吉祥寺北町4-1-16

バス停「北町四丁目」から徒歩三分

☎0422-54-5300

業務時間 8:30~17:15 (全て共通)

福祉公社ホームページ

URL <http://www.fukushikosha.jp/>